

介護ロボット等導入効果報告書(令和元年度)

法人名	社会福祉法人 鈴鹿福祉会
事業所等名	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）鈴鹿グリーンホーム
記入者職	かえでユニットリーダー

介護ロボット・機器の製品名	見守り支援ロボット 眠りSCAN(既存9台)																		
事業実施期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和2年 3月 31日																		
事業実績 (実施回数、参加者数等)	<p>【目標】 スタッフの負担感 : 20%以下</p> <p>【事業実施期間内の実績 : 眠りSCAN導入ユニットのいちよう、ひのき、かえでユニット職員 計12名】</p> <p>離職率 : 0%</p> <p>スタッフの負担感 : 16.7%</p>																		
使用場面	<p>令和元年度の使用場面は、</p> <p>①利用者の睡眠状況が確認できることによるスタッフの負担の軽減</p> <p>②眠りSCANの活用を地域に発信</p> <p>以上2項目を目的として使用しました。</p> 																		
目標達成度・効果	<p>①スタッフの身体的・精神的負担の軽減</p> <p>・睡眠状況が見えることにより、覚醒時に訪室できること、無駄な訪室で目覚めさせてしまうことがなくなり、利用者の安眠確保とスタッフの負担軽減につながりました。</p> <p>アンケート結果 : 眠りスキャンの有効性は感じられますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>はい</td> <td>10</td> <td>どちらともいえない</td> <td>2</td> <td>いいえ</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>複数回答可</p> <table border="1"> <tr> <td>スタッフの精神的負担軽減</td> <td>10</td> <td>スタッフのモチベーションアップ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>スタッフの身体的負担軽減</td> <td>6</td> <td>リクルート効果</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>利用者の体調の変化への気づき</td> <td>8</td> <td>他施設に対するモデル事業としての効果</td> <td>5</td> </tr> </table>	はい	10	どちらともいえない	2	いいえ	0	スタッフの精神的負担軽減	10	スタッフのモチベーションアップ	2	スタッフの身体的負担軽減	6	リクルート効果	1	利用者の体調の変化への気づき	8	他施設に対するモデル事業としての効果	5
はい	10	どちらともいえない	2	いいえ	0														
スタッフの精神的負担軽減	10	スタッフのモチベーションアップ	2																
スタッフの身体的負担軽減	6	リクルート効果	1																
利用者の体調の変化への気づき	8	他施設に対するモデル事業としての効果	5																

利用者の生活リズムの把握	10		
--------------	----	--	--

※どちらともいえないと回答したスタッフは夜勤未経験

②地域への発信による介護ロボットを活用した介護現場のイメージアップ効果

活動 「福祉みえ」の取材を受けています。 2020/01/17



三重県社会福祉協議会様の広報紙「福祉みえ」の取材を受けています。
内容は、平成30年10月に三重県から第1回第1号の証明を頂いた「みえ働きやすい介護職場取組宣言」について、

- ◇特別養護老人ホーム・ショートステイにおける「タブレットPC(Surface)を用いた介護看護記録システム」、「介護ロボット(マッスルスーツ・i-PAL・眠りSCAN・HAL・パロなど)」
- ◇デイサービスにおける「インカム」、「HURスマートタッチシステムによる予防・健康づくり」
- ◇居宅介護支援における「音声入力システム」

など、当法人が進めている「テクノロジー×KAIGO」の取組をご説明させていただきました。広報紙が発行された際には、是非ご覧くださいませ。
(「私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます」"We will continue to be trusted by the community" 鈴鹿グリーンホーム 施設長)






取材や見学、介護フェアでの案内等ホームページへ掲載し、介護現場のイメージアップや地域への発信ができました。

③今後の課題

- ・Wi-Fi環境が整ったことにより、施設全体で使用できるようになったが、Wi-Fi接続の設定がまだできていないため対応する必要がある。
- ・モニターがパソコン1台とタブレット1台しかないため、使用するユニット分のモニターが必要である。